


# 職業に対するイメージ調査



21111016

五十嵐 まや



# 目的

就職活動を経験した4年生とまだ就職活動を経験していない2・3年生の考える、「職業に対するイメージ」のギャップを調べる。



# 仮説

学年によって職業に対するイメージの差が出る

# 実験方法

- ・ 40人（4年生11人、2・3年生29人）の多摩大学の学生にアンケート
- ・ アンケート結果を因子分析
- ・ SD法の7件法
- ・ アンケートに使った職業・・・「事務・スポーツインストラクター・研究開発・公務員・販売業・サービス業・客室乗務員・コンサルティング・SE・企画・マーケティング・営業・バイヤー・教師」

# アンケート

非常に かなり やや どちらでもない やや かなり 非常に

・地味な	派手な
・力のない	力のある
・よい	わるい
・若い	老いた
・強い	弱い
・美しい	みにくい
・暗い	明るい
・単純な	複雑な
・理知的	感情的
・忙しい	暇な
・かたい	やわらかい
・誠実な	不誠実な
・騒がしい	静かな
・厳しい	やさしい
・役立つ	役に立たない
・速い	遅い
・小さい	大きい
・一般的	永続的な

# 結果

## 因子分析

### 4年生

### 2・3年生

因子行列<sup>a</sup>

	因子	
	1	2
スポーツインストラクター	-0.659	.179
研究開発	.616	.296
公務員	.545	.185
事務	.500	.019
販売業	-.492	.291
サービス業	-.416	.342
客室乗務員	-.171	.502
コンサルティング	-.042	.476
SE	.308	.471
企画・マーケティング	.020	.447
営業	-.118	.349
バイヤー	.062	.275
教師	.256	.268

因子抽出法: 最尤法

a. 2 個の因子が抽出されました。4 回の反復が必要です。

因子行列<sup>a</sup>

	因子	
	1	2
企画・マーケティング	.583	.119
コンサルティング	.534	.194
教師	.510	-.023
SE	.462	-.375
公務員	.430	-.226
バイヤー	.420	.038
客室乗務員	.419	.221
営業	.380	-.053
スポーツインストラクター	.315	.488
研究開発	.465	-.481
サービス業	.291	.480
販売業	.384	.431
事務	.398	-.413

因子抽出法: 最尤法

a. 2 個の因子が抽出されました。3 回の反復が必要です。

因子 1 を、「頭をよく使うイメージ」因子  
2 を、「人と接することの多いイメージ」

因子 1 を、「頭をよく使うイメージ」  
因子 2 を、「人と接することの多いイ  
メージ」

# 考察

・ 4年生・・・因子1は、「研究開発、公務員、事務」が同じ分類にでき、また、「スポーツインストラクター、販売業、サービス業」はマイナスが付いていて反対の反応が出ているが似ていると判断できる。

・ 2・3年生・・・因子2の「研究開発、事務」はマイナスが付いているが人と接することがあるという部分が共通していると判断できる。

4年生は、「研究開発や事務」が因子1にあったが2・3年生では因子2にあった。4年生は職業のことを理解しており2・3年生はいろんな職業が混ざっていた。